

第1回高原地区街づくり協議会

日時：平成26年11月6日（木）午前10時

場所：山田公民館 大会議室

次 第

1. 開 会
2. 市長あいさつ
3. 委嘱状の交付
4. 協議会の公表について
5. 協議会での高原地区活性化の方向性と審議テーマ
(1) 準備会での意見等を踏まえた高原地区の魅力と方向について（自由討議）
(2) 旧福住幼稚園の活用策について
6. 次回の日程
7. 閉 会

【添付資料】

P1 委員名簿

P2-3 協議会設置要綱

P4 協議会の公表について

P5 天理市×周辺市町村にぎわい循環 MAP

P6 高原地区活性化プロジェクト対象範囲図

P7 高原地区活性化プロジェクト

P8 高原地区街づくり協議会 スケジュール概要

P9 福住幼稚園平面図

参考資料 P1 中山間地域における課題と対策、先進事例

参考資料 P2-3 「小さな拠点」資料

別添 木村勇委員提案資料

別添 前嶋委員提案資料

別添 まちづくりマップ「氷室の郷土 福住」

高原地区街づくり協議会設置要綱

(目的及び設置)

第1条 高原地区(福住町、山田町、長滝町)において、「高原のさとの魅力を活かした活力ある街づくり」を目指し、住民、関係機関及び市の職員が専門家委員の指導・助言のもと協議・検討を進め、活性化プロジェクトを実施するための機関として、高原地区街づくり協議会(以下「協議会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 協議会は次の事項を所掌する。

- (1) 高原地区の活性化の方向性に関すること。
- (2) 高原地区の既存の施設及び魅力の活用に関すること。
- (3) 高原地区におけるイベント実施、PR促進等に関すること。
- (4) その他前条の目的を達成するために必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 協議会の委員は、次に掲げる者により構成する。

- (1) 関係団体を代表する者
- (2) 関係行政機関の職員
- (3) 天理市議会議員
- (4) 天理市長
- (5) 市長が必要と認めた者

2 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

(会長及び副会長)

第4条 協議会に会長及び副会長各1人を置く。

- 2 会長は天理市長とし、副会長は会長が指名した者とする。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を統括する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 協議会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

2 会長は、必要に応じて関係者を出席させることができる。

(庶務)

第6条 協議会の庶務は、市長公室総合政策課において処理する。

(雑則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は会長が定める。

附 則

この要綱は、平成26年11月6日から施行する。

協議会の公開について(案)

1. 公開・非公開について

公開とします。

2. 一般市民の傍聴について

ホームページで告知のうえ、当日受け付けます。

3. 報道機関の取材について

事前に報道資料を記者クラブに提出し、取材と報道を積極的に促します。

【当日スケジュール】

(1) 事前説明・記者会見

必要に応じ、開会前に実施します。

(2) 協議会

開会から閉会まで傍聴可能とします。但し、カメラ撮影は原則冒頭部分のみとします。

(3) 事後説明

必要に応じ、閉会後に実施します。

4. ホームページの議事録公開について

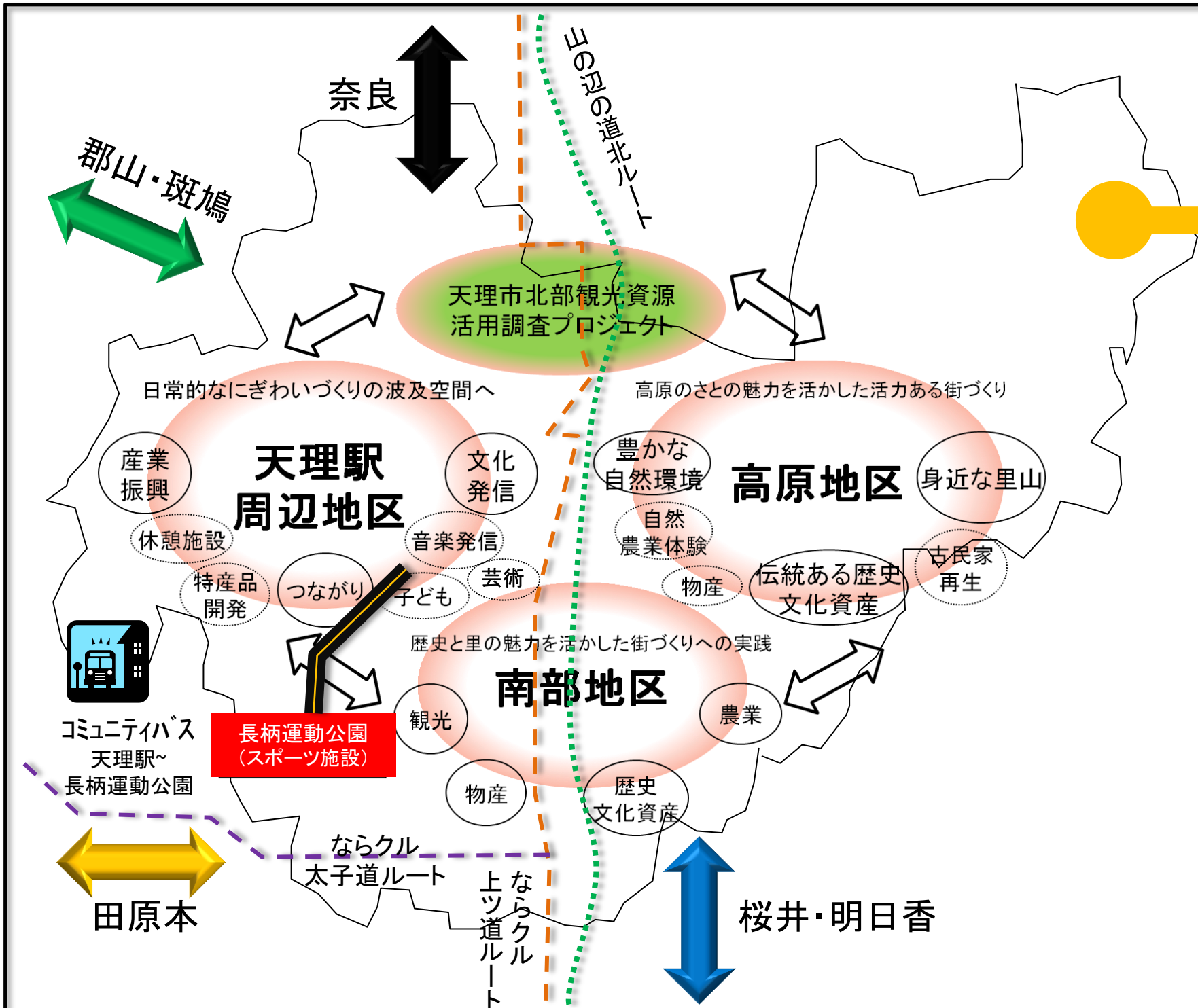
(1) 公開

後日、正式版の内容確認をいただきHPに掲載します。委員名は公表しません。

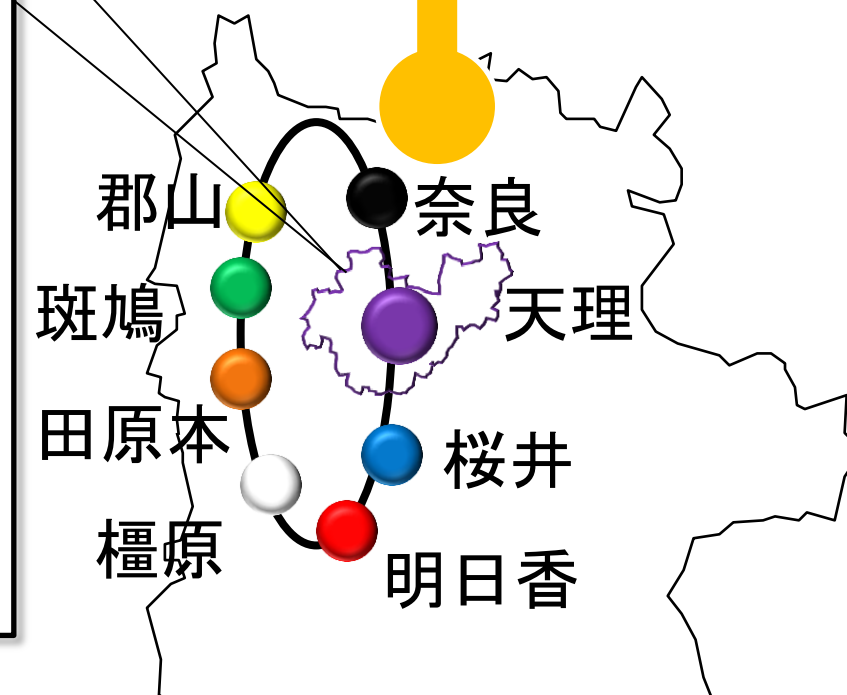
(予定としては、次回開催通知に同封し、次回協議会にて内容了承を想定しています)

天理市×周辺市町村 にぎわい循環 MAP

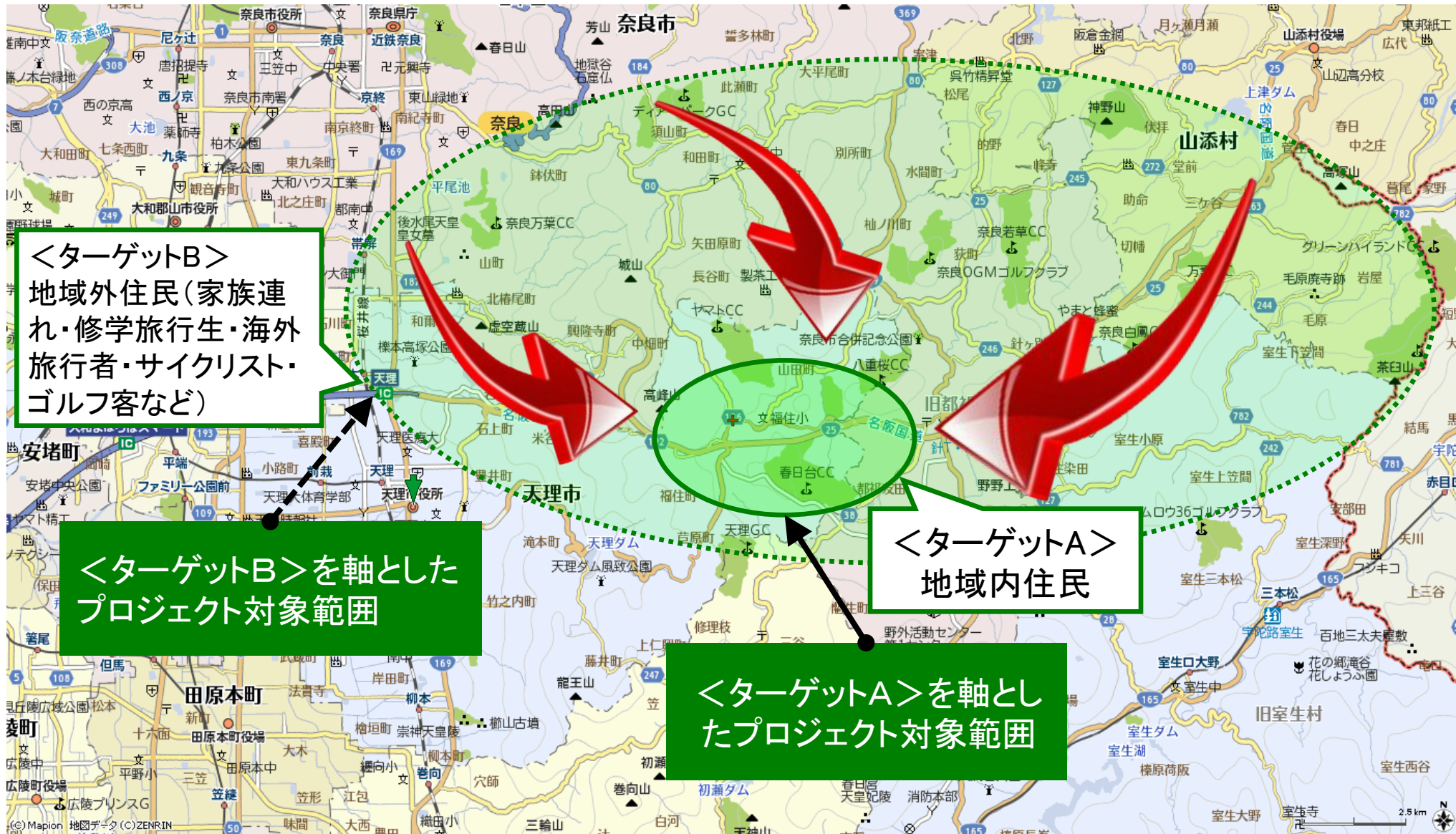
天理市



奈良県内
をつなぐ
にぎわい循環
の拠点
となる
街づくり



高原地区活性化プロジェクト対象範囲図(案)



天理市高原地区活性化プロジェクト(案)

基本方針

「住んでよし！訪れてよし！」を体現する高原のさと

ターゲット
(ねらい)

里山の魅力を活かした
新たなライフスタイルの提案

〔 温かいおもてなしとともに 〕

豊かな自然環境

●自然・農業体験(こどもらとの語らい)

- ・遊休農地を活用し、校区を超えた子どもらの交流教育体験
- ・旧福住幼稚園を活用した体験施設



●農産物の直売市(道の駅機能)



●特産品の開発/加工

- ・福住・氷室米/道安ホオズキ



●ホテル観察

伝統の歴史・文化資産

●伝統文化の授業と体験

- ・地域資源(氷室)の発掘・再認識
- ・観光・体験

●サイクリング・ウォーキングによるまち探索

- ・エコ配慮・健康づくりを兼ねたまち探索



街へつながる高原のさと

●広域的な交通利便性

- ・訪れてよし！を支える好環境

●里山ライフの充実

- ・行政サービスの向上(公民館での予約による住民票等証明書交付)
- ・買い物弱者対策(コミュニティバスを活用した宅配サービス機能を付加)

●新たな生業サポート

- ・農家レストランの開店支援
- ・貸農園(農地バンク活用)で野菜づくり

●移住促進サポート(～関西の軽井沢～)

- ・空き家バンク登録

新たな人的資源の活用

ヒト

- ・天理大学生
- ・集落支援員
- ・田舎で働き隊
- ・Iターン/Uターン者
- ・内閣府地域活性化伝道師

既存施設のリノベーション

モノ

- ・旧福住幼稚園の活用
- ・山田公民館の活用
- ・空き家の再生
- ・遊休農地/耕作放棄地の利活用

情報

発信力の強化

- ・市ホームページ/フェイスブックへの周知
- ・国・県の観光発信媒体へのアピール
- ・ライフスタイル雑誌へのアピール

天理高原地区街づくり協議会 ～スケジュール概要(案)～

準備会議(8月)

第1回協議会(11月)

第2回協議会(12月)

第3回協議会(1月)

【事務局】
調査・分析・
基本構想素案作成

【事務局】
調査・分析・
基本構想素案作成

【事務局】
短期・中長期
取組素案策定

【事務局】
短期・中長期
取組スケジュール策定

27年度
予算提出

○キーワード抽出
○基本構想協議

○キーワード抽出
○基本構想協議

○基本構想再協議
○短期・中長期
プロジェクト協議

○具体プロジェクトの
実施主体・タイムスケ
ジュール協議

○具体プロジェクト
の確定

来年度へつなげる